

令和元年度 小学校外国語教育 新教材活用研修



令和元年5月16日(木)

日田教育事務所

大分県教育委員会

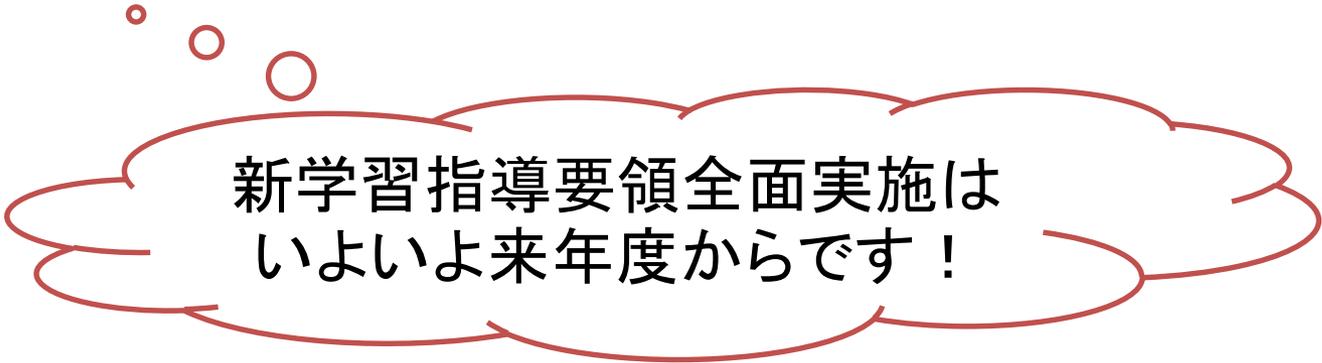
TOPICS

- 1 移行措置について
- 2 新学習指導要領について
- 3 新教材について
- 4 文字指導について



1 移行措置について

平成30、31年度で扱うこと



新学習指導要領全面実施は
いよいよ来年度からです！

時数・教材

1 移行措置期間の時数

- 3・4年は、15時間
- 5・6年は、50時間(35時間+15時間)
⇒ 外国語活動として実施
- 3・4年を35時間
- 5・6年を70時間(35時間+35時間)
⇒ 先行実施することも可能

2 使用教材について

- 3・4年は、新教材(文科省作成)
- 5・6年は、Hi, friends!(30時間程度)
+ 新教材(20時間程度)

※5・6年が先行実施を70時間行う場合は、Hi, friends! と新教材の両方を扱うものとし、新教材のみの実施はできません。



指導内容

1 新教材(文科省作成)

- 3年生でアルファベットの大きい文字に慣れ親しみ(UNIT6)、
- 4年生でアルファベットの小さい文字に出会います。(UNIT6)
- 5年生のUNIT1～4でアルファベットの文字を書くことで認識を深め、
- 6年生では、お手本を見ながら単語、文を書く活動を行います。
- 小学校では、文法は勉強しませんが、
- 5年生のUNIT5, 9では、「第三者を紹介する」活動を行い、
- 6年生のUNIT5, 7では、「過去のこと」を伝え合う活動を行います。

2 平成30年を迎えて

- 4月 移行措置・先行実施による授業開始

評価

1 外国語活動として評価

- H30・31年度は、先行実施についても外国語活動として扱います。
- つまり、3～6年とも、現在の3観点
 - ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度
 - ②外国語への慣れ親しみ
 - ③言語や文化に関する気付き
 について記述による評価を行います。

2 指導要録について

- 第3学年及び第4学年は、総合所見及び指導上参考となる諸事項を記録する欄に児童の学習状況に顕著な事項がある場合に記入する等、児童にどのような力が身に付いたかを文章で記述する。
- 第5学年及び第6学年は、外国語活動の記録の欄に文章で記述。(現在の取扱いと同様)



参考資料

新学習指導要領

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm

「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」

http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503.htm

H30年度使用新教材ダウンロード専用サイト(ID・パスワードが必要)

<http://mext-next-kyozai.net/>

2 新学習指導要領について

「英語を使って何ができるようになるか」

外国語活動及び外国語の目標

外国語活動の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

外国語の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

「言語活動」について

□言語活動は、「**実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う**」活動を意味する。

(略)

□英語を用いているが、**考えや気持ちを伝え合うという要素がない活動も言語活動であるとは言い難い**。例えば、**発音練習や歌、英語の文字を機械的に書く活動**は、言語活動ではなく、**練習**である。練習は、言語活動を成立させるために重要であるが、練習だけで終わることのないように留意する必要がある。

小学校外国語活動・外国語
研修ガイドブックより(平成29年6月)

意識すべき知見

- 音声中心に聞くことから始めて、話すことへ進めていく
- よりよいコミュニケーション活動のために、聞く時間を確保する
- 音声に十分に慣れ親しんだ後に、読んだり、書いたりする活動を行う
- 単なる機械的な繰り返しではなく、意味・必然性のある表現を、様々な活動を通して繰り返し触れさせる
- 児童の実態を調査し、児童の意欲を高めるための方策を考える

3 文科省作成新教材 について

新教材 We Can, Let's Try の特徴

“Let’s Try!” (小学校中学年用)のポイント

- 「聞くこと」「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」の三領域における言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成
- 初めて外国語に触れる児童が積極的に話したり聞いたりするようにするため、**中学年という発達段階に合わせて、扱う題材や活動、語彙、表現を設定**
(例)中学年児童にとって身近な動物や食べ物、文房具、教室名など
- 扱う語彙や表現が使われる**必然性のある場面を設定**し、児童が語彙や表現の意味を推測したり繰り返し使ったりしながら**体験的に身に付けることができるよう工夫**

“We Can!” (小学校高学年用)のポイント

- 各ユニットでは「聞くこと」「話すこと」からスタートし、**音声に十分慣れ親しんだ後に、「読むこと」「書くこと」の言語活動**に取り組むという構成
- 「聞くこと」「話すこと」を中心とした中学年における**外国語活動の学習内容を繰り返し活用しつつ、広がりのある話題を設定**
(例)行ってみたい国や地域(“We Can! 1” Unit 6)、オリンピック・パラリンピック(“We Can! 2” Unit 6)
- 「読むこと」「書くこと」に対応したコーナー(‘Let’s Read and watch’ ‘Story Time’)を設置
- 中学校への接続を重視し、より豊かなコミュニケーションとなるよう、**代名詞(三人称)、動名詞、過去形などを含む基本的な表現に繰り返し触れるよう工夫**



3年



4年



5年



6年

Let’s Try!(中学年用)12月公表

We Can!(高学年用)9月公表

小学校新教材の内容

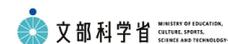
- ①児童用テキスト
- ②指導書
- ③デジタル教材、
- ④ワークシート
- ⑤年間指導計画案
- ⑥単元計画案
- ⑦学習指導案

※すべて文部科学省HPに公開

<http://mext-next-kyozai.net/>

※①②③については、H29年度末に送付済み

文部科学省作成 小学校外国語・外国語活動
平成30年度使用新教材ダウンロード専用サイト



| | |
|--|---|
| 児童用冊子 <ul style="list-style-type: none">▶ 3年生用 (12月掲載予定)▶ 4年生用 (12月掲載予定)▶ 5年生用 (9月版)▶ 6年生用 (9月版) | 教師用指導書 <ul style="list-style-type: none">▶ 3年生用 (12月掲載予定)▶ 4年生用 (12月掲載予定)▶ 5年生用 (9月版)▶ 6年生用 (9月版) |
| デジタル教材 <ul style="list-style-type: none">▶ 3年生用 (1月掲載予定)▶ 4年生用 (1月掲載予定)▶ 5年生用 (12月掲載予定)▶ 6年生用 (12月掲載予定) | ワークシート <ul style="list-style-type: none">▶ 3年生用 (12月掲載予定)▶ 4年生用 (12月掲載予定)▶ 5年生用 (12月掲載予定)▶ 6年生用 (12月掲載予定) |
| 参考資料 <ul style="list-style-type: none">▶ 「年間指導計画例」▶ 「学習指導案例」▶ 「新学習指導要領 (平成29年3月公示)」▶ 「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」▶ 文部科学省mextチャンネル (YouTube)▶ 文部科学省mextチャンネル (YouTube) に掲載の研修用動画一括ダウンロード (zipファイル) | |

パスワード
が必要

新教材の特徴

- ① 子どもの興味・関心に合った題材の設定
- ② 場面設定から使われている語句や表現の意味を推測し、語句や表現に出合わせる活動の設定
- ③ 映像資料を視聴して考える活動の設定 
- ④ 既習語句や表現を繰り返し活用する活動の設定
対話の続け方を身に付ける活動 
- ⑤ 言いたいことを表現できるような学習内容の設定(3人称、過去形、動名詞)
- ⑥ 細かなステップを踏んだ、読む・書く活動の設定 
- ⑦ ゆっくり文字を読んだり書いたりする活動の設定 
- ⑧ 読んだり書いたりする必然性のある活動の設定
- ⑨ 読むことに慣れる、自分で読むようになる活動の設定 

「新学習指導要領に対応した小学校新教材説明会(平成29年9月21日開催)」 動画
https://www.youtube.com/watch?v=V4bYXVCi6lo&index=2&list=PLGpGsGZ3lmbBzeX67bofX6HySolheD_NO

Small Talkの「なに」

What?

- 既習語句や表現を繰り返し活用する。
(定着が主なねらい)
- 対話を続ける。
- ウォーミングアップではない。
主たる言語活動の一つ。
(授業の冒頭の約10分の時間が割り当てられている)
- まとまりのある話を聞いて理解したり、
やりとりをしたりする。
(取り扱われる話題は、児童にとって身近で簡単な話題)
- 新教材5, 6年生のみに設定
- 2時間に1回程度設定

Small Talkの「なに」

What?

5年生

インプット中心
指導者と子どものやりとり中心

6年生

子ども同士のやりとり中心
分からないこと・表現できないこと
を大切に

※暗記して言うものではないことに注意！

Small Talkの「どのように」

How?

《指導過程例》

5年

① 指導者と児童のやりとり



② 児童と児童のやりとり



6年

③ 指導

- 既習をみんなで想起
- 「使わせたい英語」は確認



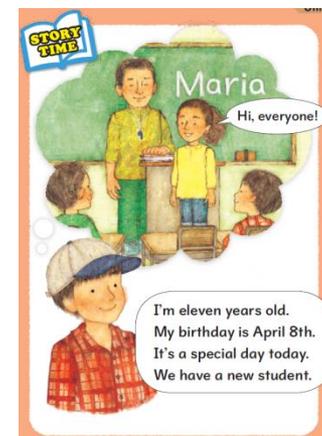
④ 児童と児童のやりとり

- 話題の提供
- 使わせたい表現を先生が使っ
て対話
 - 出だしの疑問文
 - 対話の継続の英語
- ◎楽しく伝え合う

○相手を変えて複数回

Story Time

- 英語の自然な音声を繰り返し聞き、その意味や絵を手掛かりに推測したり、文字と結び付けたり、単語や文、語順などの認識を深めたりする。
- 同じ韻を踏む単語を続けて聞くことで、文字と発音の関係に気付く。
- 読むことに慣れる、自分で読むようになる活動の設定。



Story Time

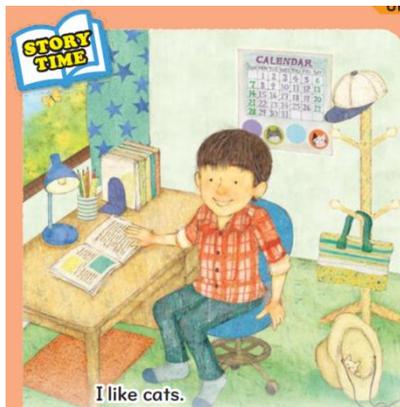
5年

- 各UnitのStory Timeを合わせると9ページの起承転結のある物語
- 主人公Kazuは、4年生Unit9 This is my day.の絵本の主人公

6年

- 各Unitで話が完結
- 韻を踏んだ音の楽しさ

I like cats. His name is Pat.
Where is Pat? He is in the hat.



新学習指導要領に対応した

新教材の特色

- ① 子供の興味・関心に合う題材の設定
- ② 場面設定から使われている語句や表現を推測し、語句や表現に出合わせる活動の設定
Let's Watch and Think
- ③ 映像資料を視聴して考える活動の設定
Small Talk
- ④ 既習語句や表現を繰り返し活用する活動の設定
対話の続け方を身に着ける活
三人称・過去形・動名詞
- ⑤ 言いたいことを表現できるような学習内容の設定
聞く・話す⇒読む・書く
- ⑥ 細かなステップを踏んだ、
Let's Read and Write
- ⑦ ゆっくり文字を読んだり書いたり
Let's Read and Watch
- ⑧ 読んだり書いたりする必然性
Sounds and Letters

3 文字指導について

英語ギライを作らないために

文字指導について

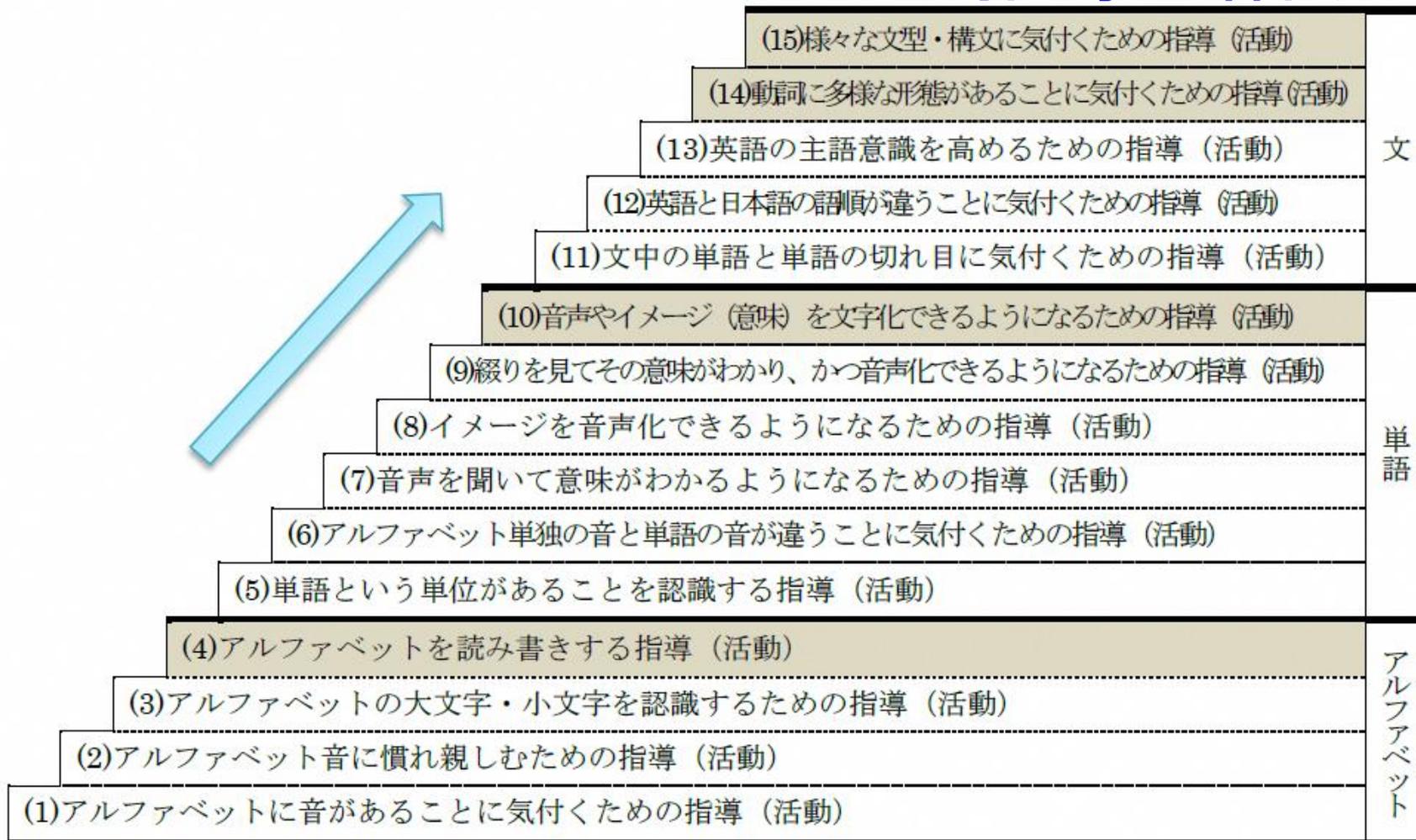
- 習得順序は音声の後…
「音声に十分慣れ親しんだ後に…」
- 「聞く」→「話す」→「読む」→「書く」の順序
- 絵本や絵カードの活用

3～6年の文字指導

小学校での文字指導

| | |
|----------------|--|
| 6年生 【外国語】 | <ul style="list-style-type: none">○アルファベットを読んだり書いたりする。(四線への書き方)○アルファベットには名前と音があることを知る。○アルファベットがまとまって言葉ができていることを知る。○身近な単語や選んだ表現を、読んだり書き写したりする。 |
| 5年生 【外国語】 | <ul style="list-style-type: none">○アルファベットを読んだり書いたりする。(四線への書き方)○単語というまとまりを認識する。○身近な単語や選んだ表現を書き写す。○ローマ字と英語の違いを知る。 |
| 4年生 【外国語活動】 | <ul style="list-style-type: none">○アルファベットの小文字を知る。大文字と小文字に慣れる。○大文字と小文字の共通点や相違点に気付く。 |
| 3年生 【外国語活動】 | <ul style="list-style-type: none">○アルファベットの大文字を知る。アルファベットで遊ぶ。○身の回りにあるアルファベットを探す。 |

文字指導の階段



中村典生 (2015) 『初等教育資料』8月号より

アブクド読み

(1) 活字体で書かれた文字を見て、その読み方を適切に発音する活動

学習指導要領解説p.p.42～43

「名前読み」…a /ei/ b /bi:/

「音読み」…‘k’ /k/ ‘t’ /t/

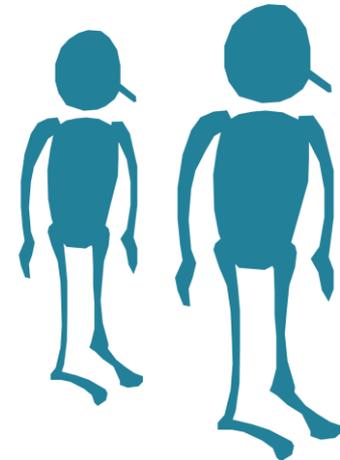
- 文字の音の読み方を指導する際は、文字の名称の読み方との混同や種類の多さによる混乱から難しさを感じることがないように留意することが必要である。
- また、文字がもつ音のうち代表的なものを取り上げて、**歌やチャンツを使って、文字には名称と音があること**に気付かせ、次の(ウ)や(エ)の言語活動につなげることが大切である。
- そのため、例えば、‘k’ や ‘t’ が /k/ や /t/ と発音することを ‘koala’ や ‘ten’ などの簡単な語を使って音声に慣れ親しませた後、k や t で始まる思い付く単語を、ペアやグループで協力しながら制限時間内にできる限り多く言わせる活動などが考えられる。
- なお、**発音と綴りを関連付けて指導することは、多くの語や文を目にしたとき、苦手意識をもったり学習意欲を低下させたりすることなく、主体的に読もうとするようになる上で大切なことの一つであるが、中学校の外国語科で指導することとされている。**

Air writing: review

- 文字は大きくはっきりと書き、児童が見て真似できるようにしましょう
- 児童と向き合って行うときは、左右が逆になるので、どのように書いたらよいか確認しておきましょう
- 黒板のほうを向いて行うときは、児童の目線を遮らないように気をつけましょう

Writing on the back

- エアライティングで文字の形を練習したあとは、実際に何かに触りながら練習をするのがよいでしょう
- ペアになって背中に書くこともできます



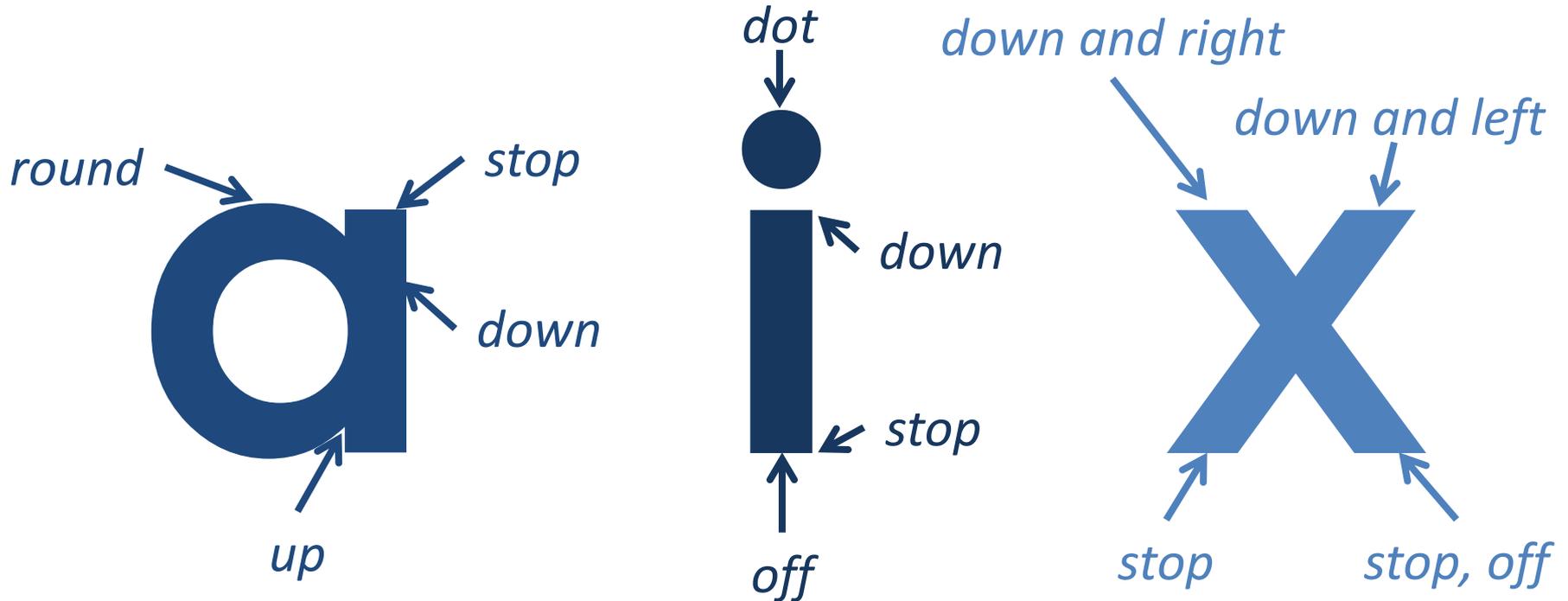
Air writing: review

- 文字の形の違いを見童に分かりやすく示しましょう



Air writing: review

- 書くための教室英語を導入しましょう



Writing on the back: benefits

- 混同しやすい文字に集中して学ぶときに有効です

a-d

q-g

l-i-j

h-n-r

Worksheets: download

- ワークシートは文部科学省のHPからダウンロードできます

ワークシート②-1

| GRADE | CLASS | NAME |
|-------|-------|------|
| | | |

アルファベットの大文字の認識

Let's Write 2 アルファベットの大文字を書こう。



① ② ③ A A A

Let's Write 7 アルファベット順になるように

a □ c d e

j k □ m □

s t □ v □

① ② ③ F

Unit **2** Unit 2-3 Sounds and Letters

| Grade | Class | Name |
|-------|-------|------|
| | | |

1. お手本をよく見て、高さや形に気を付けて書こう。

A A A A

H H H H

I I I I

M M M M

2. 自分で練習しよう。

① _____ ② _____ ③ _____ ④ _____

⑤ _____

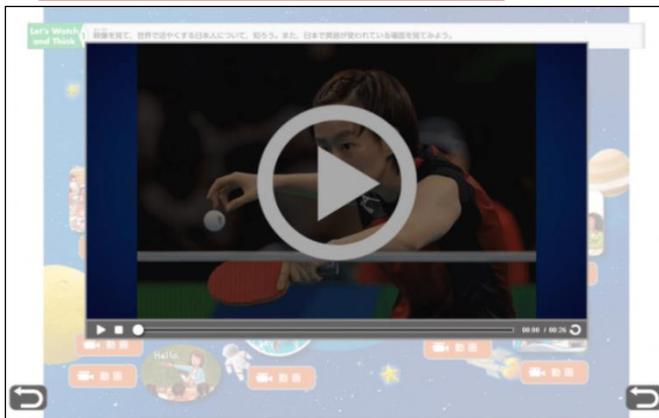
授業を支える！

We Can!(小学校高学年用) 対応 デジタル教材

教材の誌面をそのまま表示



動画ボタンをクリックすると、関連する映像が表示され、英語の音声流れる。



絵本の読み聞かせに対応



再生される英語の音声に合わせて、アンダーラインが表示される。



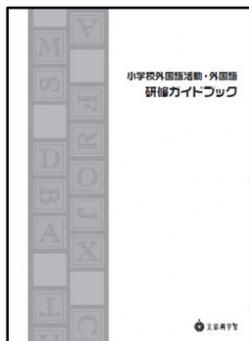
画面に書き込んだり線を引いたりすることが可能

「絵辞書機能」で必要な英語を検索可能



英語の音声を流したり、絵カードを印刷したりすることが可能

Let's Try!(小学校中学年用)対応のデジタル教材も開発中(今年度中に配布)



- 小学校の先生方が外国語活動・外国語科を円滑に進めていただくための研修用ガイドブックとして、関係者の協力を得て作成。
- 研修対象者の役割や経験、研修の目的等に応じて、必要ページを抜粋して活用することを想定。
- 英語力のブラッシュアップに関する項目については、音声や映像の資料を提供。
 ※全編を文部科学省ホームページ(http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1387503.htm)に掲載中。
 (「実習編」の音声及び「発音トレーニング」の映像については、YouTubeの文部科学省チャンネルに掲載)

| 構成(研修活用例) | 主な内容 |
|----------------------|--|
| ①基本編 | 新学習指導要領における小学校外国語教育の「基本理念」、「目標」、「内容」、「言語活動」などについてまとめている。 |
| ②授業研究編 指導案の事前検討会 | 新教材の年間指導計画例をベースに、単元指導計画や指導案の解説・立案上の留意点を、授業づくりでの大切な視点についてまとめている。 |
| ③実践編 研究授業後の研究協議会 | 年間指導計画の立案や授業を実際に行う際に心得ておきたいこと、授業の進め方、チーム・ティーチングの進め方、様々な活動を行う際の留意事項等 |
| ④実習編 英語力のブラッシュアップ | 「クラスルーム・イングリッシュ」、ALTとの打ち合わせに必要な「基本英会話」、外国語科の「Small talk」例、「発音トレーニング」・「スピーキング・トレーニング」等 ※YouTubeの文部科学省チャンネルにて音声及び映像を提供(順次掲載中) |
| ⑤理論編 | 「児童期の第二言語の学びの特徴」、「主体的・対話的で深い学び」の在り方、指導者の役割や「外国語活動と外国語科の連携の在り方」等 |
| ⑥研修指導者編 | 5つの県・市・小学校等の研修事例を取り上げ、校内研修を主導する先生方(中核教員、研修主任、管理職等)、地域の研修を主催する教育委員会の指導主事等に有益な情報をまとめている。 |
| ⑦巻末資料 | 学習指導要領や新教材で取り扱われる語彙や表現例 |

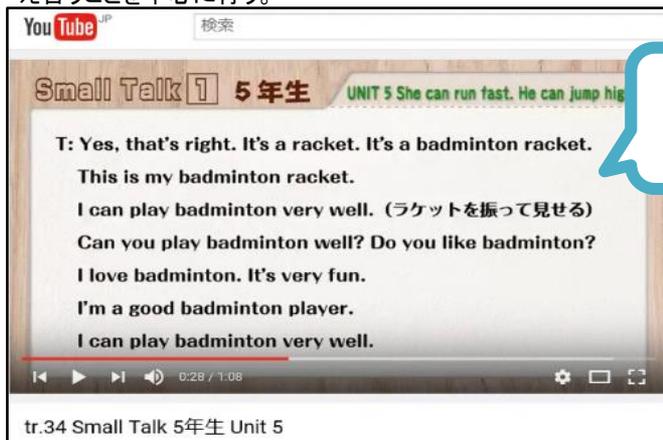
研修を支える！

YouTube MEXTチャンネルで提供している動画

- 「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」の音声データ(全58トラック)について、音声に合わせて英語を画像表示させた動画ファイルを作成し、小学校教員向けの研修用資料としてYouTube MEXTチャンネルで提供。
- 新学習指導要領の平成30年度からの移行措置・先行実施、平成32年度からの全面実施に向けて、各自治体等が主催する研修会や各学校の校内研修で活用し、英語や外国語の授業に対する小学校教員の不安を解消し、英語力や指導力の向上を図る。

Small Talk

Small Talk とは、高学年で設定されている活動である。2 時間に1 回程度、帯活動で、あるテーマのもと、指導者のまとまった話を聞いたり、ペアで自分の考えや気持ちを伝え合ったりすることである。また、5 年生は指導者の話を聞くことを中心に、6 年生はペアで伝え合うことを中心に行う。



音声に合わせて
英語を表示

リズムに乗って、
楽しく英語の発
音を練習

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbCezq1TzvGw6E-z0kmhKqKj>

発音トレーニング

「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」の「発音トレーニング」に掲載されている発音のうち、特に日本人が苦手としているものや日本語と発音が違うものを取り上げている。小学校の先生方が楽しく英語の発音を練習できる研修教材である。



<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbAbbrWCHR3kTqTYvOww6ixF>

英語による授業中の指示や質問例
(例) Make pairs. / Change partners.

ALTとの英語による会話例
(例) Could you say that in English?

英語のイントネーション、強勢、
リズム、語の連結の練習

新教材説明会 (平成29年9月21日)
の様子も動画で配信中！

主な内容

- ・新教材We Can!の趣旨や活用法等の説明
- ・模擬授業による活動の紹介

https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbBzeX67bofX6HySolheD_N0

クラスルーム・
イングリッシュ

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbDIUWRy-Q2GRrJ6e0kC1gV>

基本英会話

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbDMo7KkufPlOHCv-HrsHPYa>

スピーキング・
トレーニング

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLGpGsGZ3lmbCB54hi1s1fB6kjNEMOn4U6>

校内研修パッケージ例 (5回8時間)

※研修回数や内容や時間は、各校の実情に応じて改定しましょう。

| 時期 | 教員の授業における指導力向上の研修 | 教員の英語力向上のための研修 |
|--------|--|--|
| 4月～7月 | 第1回: 模擬授業60分 | 【通年】教室英語や発音訓練 ・(週3)職員朝会でミニ研修5分 |
| 夏季休業 | 第2回: 新教材活用研修の内容伝達120分 | 第3回: 英語実技講習会60分 (絵本の読み聞かせ・ALTとの打合せ英語) |
| 9月～12月 | 第4回: 研究授業及び協議45分+90分 [授業者: 中核教員等 指導助言: 英語担当指導主事等] | |
| 冬季休業 | 第5回: デジタル教材活用90分 | |

『小学校外国語活動・外国語ハンドブック』のパターンA「他教科等を対象とした校内研修(研究)を行っている中で、実施する場合の例」(6回9時間)を参考に作成

第1回: 模擬授業(60分)

- 役割決定・説明(中核教員等が教師役、他の教員は児童役)(5分)
- 教師役の教員が、授業実施(活動のねらいやポイント等について解説)(40分)
- 協議(授業づくりのポイント)(15分)

第2回: 新教材活用研修の内容伝達研修(120分)

- 新教材のポイント(導入時の児童とのやり取り(Small Talk)、文字の導入方法等)(60分)
- グループ(4名程度)で、指導案作成→簡単な模擬授業を「行い、グループ間で成果共有(60分)

第3回: 英語実技講習会(60分)

- H29年度「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」実践編の講習(30分)
- ALT等からの指導及びYouTubeの文部科学省チャンネル”mextchannel”を活用しての演習
- H26年度「英語教育推進リーダー中央研修」DVD教材小学校版の視聴と実演(20分)
- 協議(振り返り)(10分)

第4回: 研究授業及び協議45分+90分 [授業者: 中核教員等
指導助言: 英語担当指導主事、英語教育推進リーダー等]

指導・助言等の申込方法

第5回: デジタル教材活用(90分)

- 文部科学省作成補助教材のポイントと活用方法(60分)
- 文部科学省作成新教材の映像教材の活用について協議(30分)

各小学校

① 希望日・内容等をメール添付で申込

市町村教育委員会(経由)

日程調整・指導主事手配

②

各教育事務所

Thank you so much 🎵

